

登録コード	SE802400	開講年度	2026				
授業題目	卒業研究					担当教員	高梨 功次郎
英文授業名	Senior Project					副担当	
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	4年
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	自由 担当教員：生物科学科全教員
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識					論理的な思考力を身につけ, それらを用いて研究課題に関して自ら考えて実行し, 発表や論文にまとめることができる.	
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し, その成果を的確に他者に伝える力					論理的な思考力を身につけ, それらを用いて研究課題に関して自ら考えて実行し, 発表や論文にまとめることができる.	
	【2023年度以降加付対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み, その成果を社会に役立てる力					論理的な思考力を身につけ, それらを用いて研究課題に関して自ら考えて実行し, 発表や論文にまとめることができる.	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	各教官と相談しテーマを決定し, 研究を行なう。						
(5)授業のキーワード	生物学						
(6)授業計画	通年にわたる。時間割はない。 発表会の時期に授業アンケートを行う。						
(7)成績評価の方法	研究に対する日々の取り組み、卒研発表会、提出された卒業論文を総合して判断する。						
(8)成績評価の基準	研究内容を理解し、適切に研究をおこない、研究内容が適切に伝わる発表ができれば「水準にある」、研究内容を理解し、適切に研究がおこない、優れた研究発表を行えば「やや上にある」、研究内容を十分理解し、優れた研究を行い、優れた研究発表を行えば「かなり上にある」、研究内容を十分理解し、非常に優れた研究を行い、非常に優れた研究発表を行えば「卓越している」						
(9)事前事後学習の内容	研究室の構成員と毎週一回の 세미나で議論するための資料を毎回新しく作成し、発表する。この場での議論をふまえて調査・実験計画を変更し、次回にその進行状況を説明する資料を作成して発表・議論する。						
(10)履修上の注意	時間割がないため、卒業研究に直接にはかかわらない活動の日程も含め、報告・連絡・相談を頻繁に行うことが肝要。						
(11)質問,相談への対応	教員の時間の許す限りいつでも対応						
【教科書】							
【参考書】							